



きょうりゅう どうして生まれたの 恐竜

ちきゅう きこう へんか しんか 地球の気候の変化にあわせて進化

きょうりゅう せんぞ いま おく まんねんまえ あらわ きょうりゅう あらわ すこ
恐竜の先祖は、今からおよそ2億2000万年前に現れました。恐竜が現れる少し
まえ 今から3億年ぐらい前の地球は、暖かく、むしむしと湿気も多い気候だっ
たようです。あちこちにぬまや水辺があり、シダのような植物が森林をつくっていました。
みずべ さかな しんか いま なかま りょうせいいるい
水辺には、魚から進化した、今のイモリやカエルの仲間である両生類がいました。

やがて、少しずつかわいた気候に変わってきたため、池やぬまが小さくなり、両生類の中
から、体をうろこで包み、卵にもかたい殻のある、乾燥に強い「は虫類」が現れてきま
した。これは虫類の祖先から、およそ6000万年ぐらいの間に、さまざまな種類が現れ、
その一つが、恐竜の先祖になりました。

2億5000万年前ごろ現れたこの恐竜の先祖は、そう歯類(テコドント)とよばれ、
その後、1億4000万年もの間さかえた恐竜の仲間や、今いるワニや、鳥の仲間に進化
していきました。

ちゅうるい が もの きょうりゅう は虫類の変わり者だった恐竜

きょうりゅう ちゅうるい おお あし こうぞう あし たい かた
恐竜が、ほかのは虫類と大きくちがうところは、足の構造や、足とどう体のつながり方
です。とくに後ろ足が、ワニなどはどう体の横についているのが、恐竜は、ほ乳類や鳥な
どと同じように、真下についています。そのため、ワニのようには回り回るのではなく、後ろ
あし た うご まわ
足で立ちあがり、かなりのスピードで動き回れたようです。

まんねんまえ ぜん きょうりゅう しゅるい あらわ いま にんげん
6500万年前に全めつするまで、恐竜はさまざまな種類のものが現れ、今の人間の
ちきゅう せいぶつ おうさま きょうりゅう げんいん せき かざん
ように地球の生物の王様でした。恐竜がほろびた原因は、いん石がぶつかったとか、火山
だいふんか せつ
の大噴火などの説がいられていますが、はっきりしません。(監修・今泉 忠明)

